

組織現勢(3月1日現在)

組合員数	24,241世帯
出資口数	83,844口
2月の新規加入	16世帯
2月の増資口数	283口



発行所
城南保健生活協同組合
本部事務局 大田区大森中1-22-1 2階
TEL(3762)0266
振込銀行 さわやか信用金庫大森支店
口座(普)0469459
発行「城南の保健」編集委員会
毎月1回発行・定価1部 30円

100 古紙配合率100%再生紙を使用しています。

第26回早春ジョギング大会 814人が完走



ハーフ スタート



10kmランナー みんなでゴール



スタート後の長い列



なかよく手をつないでゴール

第26回早春ジョギング大会各種目上位10位

<p>【ハーフ男子】</p> <ol style="list-style-type: none"> 田中 吉典 1:17:10 山田 宏 1:18:41 Le Bras Erwan 1:19:32 村越 清司 1:19:58 松本 悟 1:20:06 山本 真司 1:21:27 田中 信貴 1:21:36 高澤 法之 1:22:52 横山 岳史 1:23:23 池原 正俊 1:24:10 	<p>【10km男子】</p> <ol style="list-style-type: none"> 長濱 愛慎 0:36:49 阪本 雅史 0:37:09 黒崎遼太郎 0:37:11 佐藤 真司 0:38:25 板垣 雅己 0:38:42 安藤 達也 0:38:43 角野 方哉 0:40:19 魚地 秀治 0:40:32 狩野 良徳 0:40:36 石川 智史 0:40:46 	<p>【5km男子】</p> <ol style="list-style-type: none"> 大石 真裕 0:18:17 佐藤 雄輝 0:19:58 油川 久雄 0:20:13 広渡 敬雄 0:21:12 石田 大輔 0:22:04 岩崎 信 0:22:37 森田 甲子彦 0:22:40 牧野 祥大 0:22:40 長 裕実 0:22:52 伊達 隆 0:23:42 	<p>【3km男子】</p> <ol style="list-style-type: none"> 細田 広人 0:11:18 小橋 隆人 0:11:52 池田 隆一 0:13:10 梅野 貴一 0:13:17 菅原 峻人 0:13:37 松原 宏実 0:13:54 相川 秀征 0:14:07 夏山 凱 0:14:18 瀧源 朗仁 0:14:24 小笠原由峻 0:14:36
<p>【ハーフ女子】</p> <ol style="list-style-type: none"> 鹿野 恭子 1:32:00 小池 裕子 1:40:14 宮永 智子 1:40:35 加藤 緑子 1:41:55 鈴木 亜弓 1:42:52 山中 麻帆 1:43:19 木下 直子 1:43:37 小高 美代 1:44:18 西村 三保 1:44:24 堺 朋美 1:44:28 	<p>【10km女子】</p> <ol style="list-style-type: none"> 武井 正美 0:44:44 大谷 京子 0:46:48 山岸枝里子 0:47:10 宮口 佳子 0:47:20 長谷川恵子 0:48:53 松谷 恵美 0:49:22 網川さえ美 0:49:30 神谷 真紀 0:49:42 鈴木 里珠 0:50:20 野田真紀子 0:50:27 	<p>【5km女子】</p> <ol style="list-style-type: none"> 富岡いずみ 0:24:39 五代儀かある 0:24:54 入澤 美穂 0:25:17 澤 美里 0:25:29 若宮 栄子 0:26:33 石川 葉子 0:27:08 程塚 厚子 0:28:12 大木亜紗子 0:28:30 木下ユカリ 0:28:52 中嶋 絢子 0:30:10 	<p>【3km女子】</p> <ol style="list-style-type: none"> 五代儀理沙 0:15:00 谷 暁子 0:15:59 荻野 満子 0:17:05 八木 美幸 0:17:40 根岸加代子 0:17:59 峰本さやか 0:19:00 石川 純子 0:19:37 茂木 知子 0:19:51 杉沢絵美子 0:20:09 塩入 淑恵 0:20:15

3月2日に恒例の第26回早春ジョギング大会が行われました。今回は1カ月前の青梅マラソンが雪のために中止になった影響か、久々に1000人に迫る勢いで参加申し込みがありました(983人)。当日は朝は風が強く心配されましたがスタート時刻には風も弱まり、暑すぎず寒くもなく絶好のジョギング日和となりました。当日は814の方がみごと完走しました。また、昨年試験的に行っていたタイム計測システムも今年は本格的に導入しました。

今年の大会では、86の方が要員のボランティアとしてお手伝いいただきました。朝早くから本当にありがとございませした。お陰さまで事故や怪我もなく無事大会を終えることができました。参加したボランティアの方からは「休みの日に朝早く出て来るのは大変だと思ったけど、一生懸命走っている人たちを見ると、思わず応援の声が出てしまつた。応援することで自分も元気を貰えるような気がして、走った人と同じようにリフレッシュできるんです」とのうれしい感想も聞かれました。ランナーにとっても要員にとっても早春ジョギング大会の日が有意義な1日になるよつ今後とも夫しまいりますので、来年もよろしく願っています。

腹八分 戦前のプロレタリア文学を代表する作家・小林多喜二を記念する集いが各地で開かれています。ナチス政権下のゲシュタポ、旧ソ連スターリン体制を支えていたKGBと並んで、社会主義・自由主義者はもとより、戦争遂行に疑問を抱く者まで根こそぎ弾圧を加えていた特高(特別高等警察)の手によって殺されてから今年75周年でもあります。いまマンガになった「蟹工船」をはじめ、多喜二の作品が若者に読まれています。29年の多喜二の短い生涯。そして作家として生きていた時代、日本は世界的な不況の中にあり、農村は相次いで凶作に見舞われ、さらに中国大陸での戦線の拡大による戦費の膨張という三重苦の中にあつました。農民は「満州の新天地へ」のストロガンに眼をくまされ、開拓団として大陸に送りこまれました。都市には失業者があふれ、臨時工の募集に多くの労働者が群がり、そして何の保障もなく餓死されていました。小説「蟹工船」は、募集に応じた失業者、貧民、小学校を出たばかりの少年、元学生たちが、それがひとつの工場である船に乗せられ、オホーツクの荒海で無権利状態で労働する人々が、やがて組織をつくり権力に抗してストライキを打ち、味方だと思っていた日本海軍に弾圧されるストーリーを現代的な手法で書きあげています。いま日本の状況は75年前、多喜二の生きた時代と驚く程共通しています。弾圧に抗して変革を求めた多喜二の生涯と作品が、いま若者の胸にあつい火を灯しています。